

# 2025年3月期第2四半期 決算補足説明資料

福山通運株式会社  
(東証プライム市場 9075)

2024年11月12日



# 1.連結業績

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	141,229	<b>146,804</b>	5,574	103.9
営業費用	134,991	<b>142,318</b>	7,326	105.4
営業利益 (営業利益率)	6,237 (4.4)	<b>4,485 (3.1)</b>	△1,752	71.9
経常利益 (経常利益率)	7,175 (5.1)	<b>6,090 (4.1)</b>	△1,084	84.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,384	<b>5,460</b>	1,075	124.5

## 売上高

特積みの物量回復に加え、貸切件数の増加や倉庫の取扱数量増加などにより増収

## 営業利益

売上高は増加したものの、2024年問題対応やドライバー不足対応のための外注費の増加により減益

## 経常利益

環境関連補助金の受取額増加などにより営業外損益は+667百万円

## 中間純利益

運送事業におけるコスト増加による減益はあったものの、投資有価証券の売却により増益

## 2.セグメント別業績

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
<b>売上高 合計</b>	141,229	<b>146,804</b>	5,574	103.9
運送事業	110,777	<b>114,082</b>	3,305	103.0
貸切事業	11,377	<b>12,277</b>	899	107.9
流通加工事業	10,428	<b>11,058</b>	630	106.0
国際事業	5,232	<b>5,793</b>	560	110.7
その他事業	3,413	<b>3,592</b>	178	105.2

<b>営業利益 合計 (利益率)</b>	6,237 (4.4)	<b>4,485</b> (3.1)	△1,752	71.9
運送事業	4,803 (4.3)	<b>3,048</b> (2.7)	△1,754	63.5
貸切事業	1,001 (8.8)	<b>1,075</b> (8.8)	73	107.4
流通加工事業	1,550 (14.9)	<b>1,663</b> (15.0)	112	107.3
国際事業	218 (4.2)	<b>161</b> (2.8)	△57	73.9
その他事業	666 (9.3)	<b>580</b> (7.7)	△86	87.1
調整額	△2,002	△ <b>2,043</b>	△40	—

### 運送事業

特積みは回復したものの（重量+2.9%、単価+0.7%）、2024年問題やドライバー不足対応のための外注費の増加に加え、委託単価の上昇もあり減益

### 貸切事業

取扱件数の増加や大口案件の獲得により、増収・増益

### 流通加工事業

新設倉庫の本格稼働に伴う取扱数量の増加や単価改定により増益

### 国際事業

輸入貨物量の増加により利用運送や通関取扱いは好調だったものの、海外におけるトラック輸送の取扱い減少により減益

### その他事業

景況感の改善に伴い商品販売収入は増加したものの、減価償却費の増加などにより減益

# 3.分野別運送収入と運賃是正

## 運送収入

※2024年4～9月稼働日数：前年同期比99.3%

\* 当社の荷物分類定義

小口貨物：1件1個30kg以下

商業貨物：1件6個121kg以上

商業小口：1件5個120kg以下

重厚長大：1個100kg以上または1件500kg以上

(単位：百万円/%)		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
分野別 運賃	小口貨物	28,322	<b>29,133</b>	811	102.9
	商業小口	24,223	<b>24,813</b>	590	102.4
	商業貨物	22,497	<b>23,324</b>	826	103.7
	重厚長大	24,195	<b>25,574</b>	1,379	105.7
	計	99,238	<b>102,845</b>	3,607	103.6
その他の運賃		11,052	<b>10,750</b>	△301	97.3
その他運送事業収入		487	<b>486</b>	△0	99.8
計		110,777	<b>114,082</b>	3,305	103.0

## 輸送4要素

(前年同期比/単位：%)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価	重量
小口貨物	100.5	101.4	101.0	101.8
商業小口	100.2	101.3	100.7	101.8
商業貨物	101.2	100.2	100.8	102.8
重厚長大	101.0	98.5	101.1	104.6
全体	100.6	100.6	100.7	102.9

# 4. 営業費用

(単位：百万円/%)	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
<b>営業費用 合計</b>	134,991	<b>142,318</b>	7,326	105.4
<b>人件費 合計</b>	64,935	<b>67,525</b>	2,590	104.0
人件費	60,075	<b>61,503</b>	1,428	102.4
外注人件費	4,860	<b>6,021</b>	1,161	123.9
<b>物件費 合計</b>	47,592	<b>50,085</b>	2,492	105.2
燃料費	7,128	<b>7,426</b>	297	104.2
備車費	14,356	<b>15,186</b>	829	105.8
貸切備車費	8,014	<b>8,855</b>	840	110.5
その他	18,093	<b>18,617</b>	524	102.9
<b>諸費 合計</b>	15,301	<b>16,443</b>	1,142	107.5
取扱手数料	6,646	<b>6,923</b>	276	104.2
その他	8,654	<b>9,520</b>	865	110.0
<b>減価償却費</b>	7,162	<b>8,263</b>	1,101	115.4

## 人件費

ヘア及び物量増に伴う給料手当の増加に加え、2024年問題の対応や労働環境改善における外注人員の増員及び委託単価の上昇により、外注人件費が増加

## 物件費

ドライバー不足対応による集配備車費、貸切案件増加に伴う貸切備車費がともに増加

## 諸費

管理コストの単価上昇や一過性コストの発生により増加

## 減価償却費

前年度からの車両更新台数の増加に伴い車両の減価償却費が増加

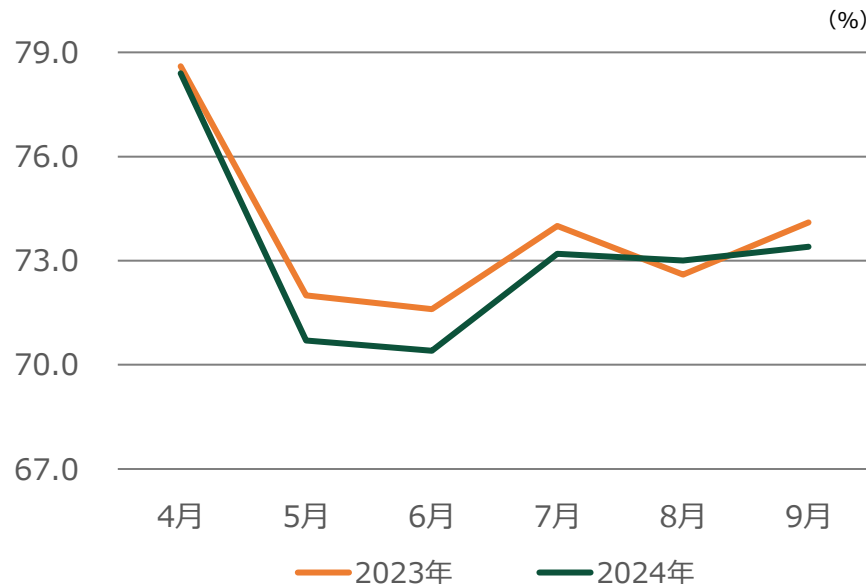
# 5. ネットワークの業績推移

## ネットワークの業績推移

※対象コスト：従業員給料、外注費、  
(フェリー輸送・鉄道輸送含む)、燃料費、高速代

(単位：%)	発生額 前年同期比		重量当たり 前年同期比	
	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)
ネットワーク収入	102.8	104.4	100.7	100.7
主要コスト	106.5	105.1	104.3	101.3
マージン	92.3	102.4	90.3	98.7

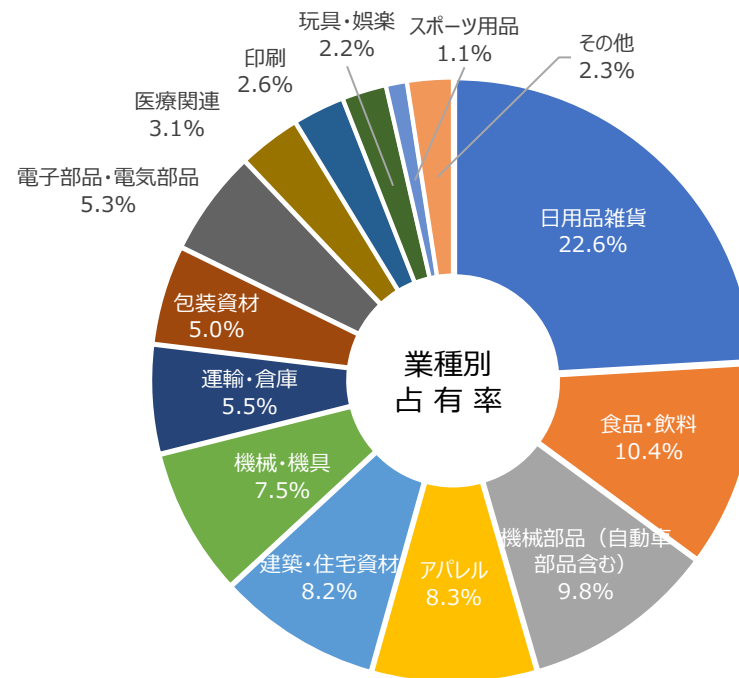
## 運行便積載率



- 重量は第1四半期102.1%から第2四半期103.7%と回復
- 運賃単価は第1四半期100.7%から横ばい
- 人件費や外注費など主要コストは引き続き増加しているが、重量の回復により、重量当たりのコストは第1四半期と比較し、伸び率は低下  
(前年同期比：第1四半期 104.3% ⇒ 第2四半期 101.3%)
- 重量当たりのマージンは価格転嫁が十分ではなく、前年を下回っているが、第1四半期と比較し改善  
(前年同期比：第1四半期 90.3% ⇒ 第2四半期 98.7%)
- 重量の回復、それに伴う効率性の改善により、発生額ベースでのマージンは前年を上回る  
(前年同期比：第1四半期 92.3% ⇒ 第2四半期 102.4%)
- 運行便積載率は、より一層深刻化するであろうドライバー不足に備え、車両の大型化による1台当たりの積載能力増強の推進により低下

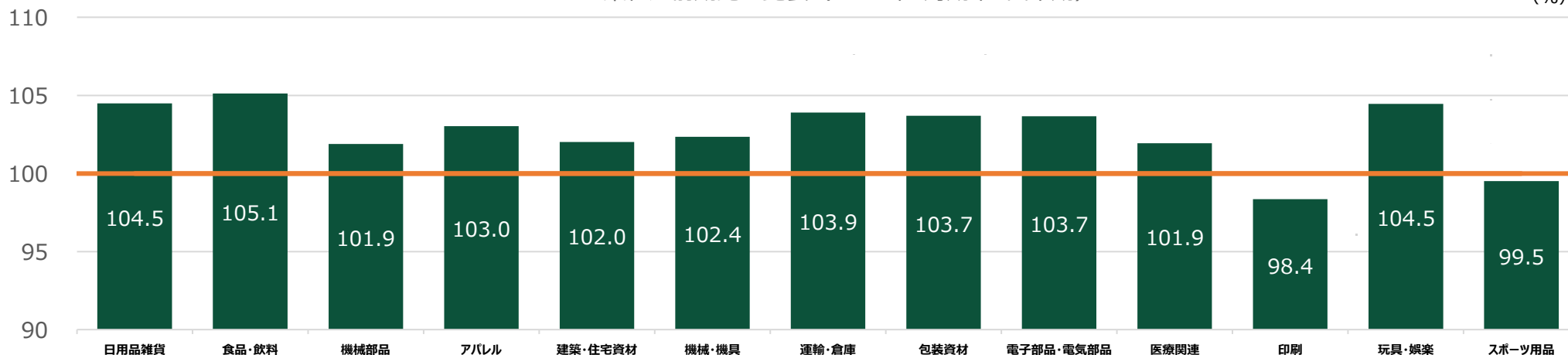
# 6.業種別傾向

- ・主力の日用品や食品・飲料関係はインバウンド需要もあり、好調に推移
- ・機械部品や建築・住宅資材は物価高や円安の影響により微増
- ・印刷は印刷市場の縮小により減少



業種別前期比一覧表 (2025年3月期第2四半期)

(%)



# 7.2025年3月期 連結業績予想

(単位：百万円/%)

項目	2024年 3月期実績	2025年3月期		前期比較		前回予想比較	
		前回予想	今回予想	増減	前期比	増減	前回予想比
売上高	287,563	301,300	300,700	13,137	104.6	△600	99.8
営業利益 (営業利益率)	10,448 (3.6)	12,000 (4.0)	6,700 (2.2)	△3,748 (△1.4)	64.1	△5,300 (△1.8)	55.8
経常利益 (経常利益率)	12,973 (4.5)	13,500 (4.5)	9,100 (3.0)	△3,873 (△1.5)	70.1	△4,400 (△1.5)	67.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,834	11,300	8,000	166	102.1	△3,300	70.8

## 運送事業における中間期の状況及び今後の見通しを踏まえ、下方修正

- 売上高においては、上期は想定を上回ったものの、下期は物量の回復基調も弱まり、想定を下回る見込みとなったこと、また価格転嫁が遅れていることを踏まえ下期の運送収入を20億円下方修正
- 営業利益においては、運送収入の下方修正に加え、輸送の維持・向上のための外注費が想定を上回る見込みとなり53億円の下方修正





本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。